

各関係機関の長 殿

国立精神・神経医療研究センター理事長

(公印省略)

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部

心理社会研究室長の公募について

当センターの運営にあたりまして、日頃より格段のご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、当センター精神保健研究所では、薬物依存研究部 心理社会研究室長1名を公募することになりました。

つきましてはご多用中恐縮に存じますが、貴学及び貴機関において意欲的で適任な方がおられましたら、下記の書類を添えてご応募下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 職名および人数

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 心理社会研究室長 1名
(研究職・任期付年俸制職員)

2. 職務内容

薬物依存研究部では、薬物乱用・依存及び中毒性精神障害の実態把握のための疫学研究、薬物依存症及び中毒性精神障害に対する診断・治療法の臨床研究、乱用薬物の依存性・毒性に関する基礎研究に取り組んでいます。

今回募集する心理社会研究室では、薬物乱用・依存及び中毒性精神障害の現状把握のための各種疫学研究、薬物依存の発生要因に係る心理社会的な研究、及び、薬物乱用・依存の予防及びその研修が主な職務内容となります。

心理社会研究室長は、以上のような部の研究活動の一翼を担い、疫学研究チームのリーダーとして、下記のような研究課題について取り組むことが求められます。

- (1) 薬物使用に関する全国の一般住民を対象とした疫学研究
- (2) 薬物使用に関する全国の青少年を対象とした疫学研究
- (3) 民間支援施設における薬物依存者を対象とした疫学研究
- (4) 薬物使用のハイリスク層を対象とした疫学研究

3. 応募資格

下記の全ての条件を満たす方

- (1) 疫学研究チームのリーダーとして、大規模データの処理や統計解析に優れ、意欲的に研究を計画・推進することができること。
- (2) 医師・薬剤師等の医療系の国家資格を有すること。
- (3) 医学・薬学・公衆衛生学・保健学あるいは関連分野の博士号を有すること。
- (4) 博士号取得後、5年以上の研究歴を有すること。

4. 採用予定年月日

平成 29 年 11 月 1 日(任期：採用日から 5 年間)

5. 提出書類

(1) 履歴書(写真添付 様式自由)

(2) 業績目録

原著論文、総説、著書、その他に分けてまとめ、学会発表は国際学会、国内学会別に分けてまとめてください。

(3) 過去 5 年間の競争的研究費獲得状況

(4) 主要論文 3 編の別刷 (コピーでも可) を 5 部ずつ

(5) 現在行っている研究及び将来の研究に対する抱負(2000 字以内 A4 版にて作成)

(6) 機関の長または直属の上司等から当センター理事長あての推薦状 1 通

6. 選考方法

書類選考並びにセミナー及び面接審査

7. 勤務形態及び給与並びに身分

(1) 身分：国立研究開発法人職員(常勤職員) ※6ヶ月間は試用期間です。

(2) 給与：基本給(経験年数により決定します)、地域手当、通勤手当等センター給与規程に基づき支給

(3) 賞与：6月及び12月

(4) 勤務形態：フレックス制、1週38時間45分勤務

(5) 休日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12/29~1/3)

(6) 休暇：年次有給休暇、リフレッシュ休暇、病気休暇、忌引等

(7) 保険：共済組合(健康保険、年金)、雇用保険、労災保険加入

(8) 退職手当：有

8. 提出締切日

平成 29 年 9 月 20 日(水) 必着

9. 書類送付先

〒187-8553

東京都小平市小川東町 4-1-1

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所長宛

(封筒に「薬物依存研究部心理社会研究室長応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送のこと)

10. 問い合わせ先

国立精神・神経医療研究センター 研究所事務係

TEL 042-346-1943

FAX 042-346-1944

なお、国立精神・神経医療研究センターの概要は <http://www.ncnp.go.jp/> を、薬物依存研究部の詳細は <http://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/index.html> をご参照下さい。

研究内容についての応募前の問合せは dhp02@ncnp.go.jp 松本俊彦(部長)まで。